

事業番号	05 07 03	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	難病及びその他疾病対策事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課		
		実施期間	H6 ~	E-mail	hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	⑦健康長寿日本一を維持						
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実						

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 難病患者が地域で安心して療養生活を送れるよう、医療費の助成、相談等患者支援体制の充実及び難病診療体制の構築を目指す。 関係機関と協力した普及啓発の充実による、ドナー登録者の確保及び骨髄等の提供がより多く行われる体制の充実を目指す。 各疾病への正しい知識の普及啓発及び医療の質の向上に努め、健康寿命の延伸を目指す。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> (難病)難病相談支援センターによる相談対応、保健福祉事務所による患者交流会等の開催及び難病対策連絡会議等での難病医療提供体制等の検討 (骨髄)保健福祉事務所でのドナー登録受付、関係団体と連携した普及啓発、骨髄提供時のドナー等に対する市町村助成金の一部補助 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 指定難病の疾患数の増加に伴う相談ニーズの増加 支援者の資質向上の機会の不足 	<ul style="list-style-type: none"> 電話相談・面談・訪問等の支援継続に加え、オンラインによる相談支援の検討 支援者に対する研修会等のオンライン開催等による参加機会の拡充

2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 難病等診断書登録オンライン化支援事業 ・医療機関に対し、難病等診断書登録のオンライン化に必要な費用を助成
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<ul style="list-style-type: none"> 【DX】各種研修会における「ながの電子申請サービス」による受講申込みの推進 【ゼロカーボン】オンライン会議・研修会等の推進によるペーパーレス化及び交通用具使用削減を通じた二酸化炭素排出量の削減 【共生社会づくり】難病患者等への支援を充実させ、社会参加を促すための研修会・講演会等の開催 【学びの県づくり】循環器病に関する正しい知識の涵養及び普及啓発を図るための研修会・講演会等の開催

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値
1	難病相談支援センター及び保健福祉事務所における患者支援件数(相談・交流・研修等)	件	8,000	6,000	↓	6,000	→	6,500
2	難病患者等ホームヘルパー養成研修受講者数(累計)	人	1,433	1,433	→	1,473	↑	1,513
3	対象人口千人あたりのドナー登録者数 ※対象人口(18歳~54歳)	人	5.9	6.03	↑	6.03	→	6.05
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越	0	0	0
	当初予算	2,197,921	2,347,557	2,477,636
	補正予算	436,309	418,068	5,943
	合計(A)	2,634,230	2,765,625	2,483,579
	うち一般財源	1,111,136	1,398,245	1,252,392
決算額(B)	2,604,181	2,723,676		
職員数(人)	25.2	25.2	25.2	

設定理由	成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 1.指定難病の疾患数増加等を踏まえ、患者や家族の不安軽減を図るため 2.難病支援の理解促進及び質の向上を図るため 3.必要な患者が骨髄移植等を受ける機会を増やすため
	目標値	<ul style="list-style-type: none"> 1.第2期信州保健医療総合計画の計画期間最終年度(2023年度)における難病相談支援センター目標値(3,337)に加えて、保健福祉事務所における相談数や交流事業をコロナ禍の影響を考慮した経過目標値として設定 2.第2期信州保健医療総合計画の計画期間最終年度(2023年度)における目標値(1,587)に対する経過目標値として設定 3.骨髄バンクの推進にあたり基礎となるドナー登録者数について、コロナ禍の影響を考慮した経過目標値として設定

事業番号	05 07 03	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	難病及びその他疾病対策事業			部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
1	難病対策推進事業	2,632,571 千円	2,763,663 千円	当初 2,475,649 補正 5,943 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	特定医療費助成事業	直接 補助金	・指定難病の治療に係る医療費の自己負担分(患者一部負担額を除く)の公費負担	
2	特定疾患治療研究等事業	直接	・特定疾患・先天性血液凝固因子障害等の治療に係る医療費の自己負担分の公費負担 ・特定疾病の治療に係る医療費の自己負担分(患者一部負担額を除く)の公費負担	
3	難病特別対策推進事業	直接 委託	・難病診療連携コーディネーターの配置【委託先:信州大学医学部附属病院】 ・全国の難病医療ネットワークへの参加、在宅難病患者の一時入院の調整 ・在宅療養の重症難病患者の一時入院に係る病床確保協力金の支給	
4	骨髄提供希望者登録推進事業	直接 補助金	・関係団体と協力した普及啓発活動の実施 ・骨髄等提供時のドナー等に対する市町村助成金の一部補助	
5	遷延性意識障害者医療費給付事業	直接	・遷延性意識障害者の治療に係る医療費の自己負担分の公費負担	
6	療養生活環境整備事業	直接 委託	・難病相談支援センターの設置運営【委託先:信州大学医学部附属病院】 ・電話・面談・訪問等による相談支援、患者会支援等の実施	
7	在宅難病患者コミュニケーション支援事業	直接	・在宅難病患者への療養生活支援機器(意思伝達装置等)の貸出 ・難病患者支援者への機器等の取扱いに関する研修の開催	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
2	その他疾病対策事業	1,659 千円	1,962 千円	当初 1,987 補正 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	生活習慣病対策推進事業	直接	・クリティカルパスを担う若手医師の育成等を目的とした研修会の開催	
2	アレルギー疾患対策推進事業	直接	・アレルギーに関する医療の現状や課題把握、対策の検討を目的とした連絡会の開催	
3	循環器病対策推進事業	直接	・「長野県循環器病対策推進計画(仮称)」に基づき、適切な医療サービス等の提供を目的とした医療者に対する研修会等の開催	